

THE AMERICA-JAPAN SOCIETY, INC.

The eighty-sixth (86th) ORDINARY GENERAL MEETING

at 17:00 p.m. on July 13th, 2021

at the AJS office and ON-LINE

AGENDA

1. Report from President..... P.1-7
- - - by President Ichiro Fujisaki

2. Election of New Directors P.8-9
- - by President Ichiro Fujisaki

3. FY2020 Report on Activities, Finance and Membership Trend.....P.10-16
- - - by Executive Director Kazuo Okamoto

4. Statutory Auditor's Report for FY2020P.17

5. Ordinary Activity Plan & Budget for FY 2021..... P.18-20
- - - by Executive Director Kazuo Okamoto

6. New Individual Members..... P.21-22

Annual Report of FY 2020 2020年度 年次報告

(2020年5月1日～2021年4月30日)

会長 藤崎一郎

2020年度は、前年度から引き続き新型コロナウイルス(Covid-19)の影響、特に3回に渡る緊急事態宣言により、会員総会をはじめ定例会、イベントなどはリアル開催することができず、多くがオンラインでの開催となりました。特に、恒例の大使公邸でのレセプションやアウトイングイベントなどは、開催そのものができず大変残念な年となりました。

そうした状況にも関わらず、2017年に立ち上げた百周年記念事業を含め、できる限りオンライン化することによって、イベントの開催数はリアルとオンラインを併せて31となりましたが、2019年度の40には達しませんでした。今後、ワクチン接種の拡大により新型コロナウイルスの影響は低減すると見込まれますが、会員の皆様の健康と安全を考え、イベントのオンライン化は暫く継続し、状況を見ながら徐々にリアル化への復活を進める計画でおります。この機会に会員の皆様の当協会への日頃のご支援に感謝し、2020年度の活動実績を報告いたします。

1) プログラムの実施状況

2020年度に開催したプログラムの詳細は **Calendar of Event (P10-12)** をご覧ください。

各界から著名なゲストスピーカーをお招きしていた月例会については、一昨年度までは **White & Case** 法律事務所から会場をご提供頂いておりましたが、昨年は実施した月例会9件は全てオンラインでの開催となりました。開催の時間帯を夜に変更したことや参加の容易性から出席数は160人を超えることもあり、会員サービスの新たな可能性を示唆することになりました。なお、オンラインイベントに於いてもリアルでのイベントの際と同様に大井理事には同時通訳サービスのご提供につきご支援頂いておりますこと、この場を借りて御礼申し上げます。その一方で、会員の交流を広める企画として、総会後の懇親会、米大使館公邸でのパーティー、在日米商工会議所との共催の「飲む・ニケーション」、米軍基地見学会、競馬観戦などを一昨年度まで鋭意実行してきましたが、感染症拡大防止対策からゴルフ大会(2020年11月実施のアイゼンハワー杯)を除き、全てキャンセルの止むなきに至りました。しかしながら、オンラインによる交流の維持拡大を目指し、特異なご経歴や専門性を御持ちする会員を囲んだ小規模親睦会”AJS Salon”を立上げ、既に3回実施致しております。

これに加えて、100周年記念行事は、新型コロナウイルスの影響で金子堅太郎賞の選考、アメリカボウル大会の開催、VSJプログラムによる米国人研究者の日本招聘は全て中止の止むなきに至りました。唯一、日米の若人により時事討論を行うNGRTのみ感染症の状況を見つつ一部は森ビル様のご支援によってリアルセッションが開催できましたが、多くはオンラインでの実施となりました。

2) 会員の状況

P-13にお示しした通り、新型コロナウイルスの影響で法人会員6社の退会乃至は休会、1社の種別変更により、7ユニット分が減少致しました。個人会員については、維持会員及び正会員は入会/退会の出入りが激しかったものの結果的に横這いとなりました。一方、準会員、学生会員は大幅に増加しております。この要因としては、NGRT参加希望者に対し入会時にはプログラム参加費を免除したこと、学生会員の年会費を3千円から2千円に値下げしたことが奏功したものと考えております。

アメリカ人個人会員の構成比は依然11%に留まり引き続き会員の皆様には個人会員の入会を、特にアメリカ人会員の入会を引続きご支援くださるようお願い申し上げます。

3) 役員について

当協会の役員（理事・監事）は定款第5章第18条により「理事9名以上13名以内（任期2年）、監事2名以内（任期4年）」と定められております。今年度は、理事13名中2名が今総会で任期を迎えますので、重任を今総会の議案として重任の承認をお諮り致します。ご承認頂きますと、今回重任を受けた2名を含めた再任理事は13名、監事は2名となります。尚、今年度に退任する理事・監事はおりません。

名誉会長は、昨年11月の臨時会員総会により安倍晋三前総理が就任されましたが、米国側の名誉会長は2019年8月のハガティ大使離任ののち空席となっておりますが、新大使の正式着任次第、就任を要請する予定です。また名誉副会長には今年初めまで駐米大使をされた杉山晋輔大使にご就任頂きます。尚、長らく協会顧問を努められた榎原稔顧問、谷静子評議員が2020年12月にご逝去されました。協会活動に対する長年に渡るご貢献に改めて深く感謝すると共に衷心よりご冥福をお祈りいたします。その他に移動はございません。P8-9をご覧ください。

4) 財務・経理の状況

収支の状況は、①通常の一般事業と②100周年記念事業に分けて報告します。

① 一般事業の状況：P-14に記述の通り、昨年度の赤字(△281千円)から黒字(524千円)となりました。収入面では法人会員6社の退会・休会に加えて会費制プログラムの非実現が大きなマイナス要因となりましたが、新型コロナウイルスに係る持続化給付金の助成を受けたことによって一時的に黒字となっております。2022年度は同給付金は見込めず赤字化が不可避となるため、会員数の維持・拡大、事務所経費の削減、イベントでのコスト超過回避を柱に採算維持と会員サービスの向上を目指します。

② 100周年記念事業の状況：P-15に記載の通り、会員の皆様より頂戴した「100周年記念基金」を大切に使い4つの記念事業を鋭意推進の結果、2020年度末時点で1,640千円を費消し期末での残額は82,962千円となっております。

5) 100周年事業について

頂戴したご寄附は特に日米相互理解と友好促進を進めるため、さらには日米の若人の国際交流を支援するための以下の4つのプログラムに使用してまいりました。2020年度の実績と決算はP-15、2021年度の予算はP-20をご参照ください。

① 日米協会金子堅太郎賞

同賞は日米交流に草の根レベルで貢献した一般人を対象とする賞です。選考委員会は委員長を齊藤邦彦元駐米大使（当協会名誉副会長）に、委員には茂木キッコーマン名誉会長、大橋ANAホールディングス相談役、ラフルアー在日米商工会議所会長（当協会副会長）、ジャーナリストの国谷裕子氏、久保文明防衛大学校長、日米協会を代表して小職を委員としています。2020年度は、表彰対象者の選考対象を厚くするため当初から一時中断を計画致しましたが、2021年度も新型コロナウイルスの拡大に歯止めが掛かっておらず公募や推薦過程への影響が避けられないことから選考を中止し、2022年度に第4回金子賞の選考再開を予定しています。

② NGRT（Next Generation Round-table in Tokyo）

次世代向けのプロジェクトの目玉として、「次世代ラウンドテーブル in TOKYO（NGRT）」を実施しています。東京でアメリカ人と英語で議論する場を作ろうという発想で、NGRTを通じ若手のアメリカ

カ人と日本人のネットワーキングを図ることを狙いとしています。年間を通じ 10 回程度を六本木ヒルズクラブ（会場ご提供：森ビル）にて行い、米人をはじめ企業会員の若手社員からも多数の参加を得ております。

昨年の 10 月から第 4 期生によるプログラムとして 4 月末まで 6 回実施していますが、10、11 月分実施のリアル開催 2 回を除き全てオンラインでの実施としています。毎回各界の新進気鋭のスピーカーをお招きすることで活発な議論が展開され参加者にも好評です。2020 年 10 月から募集の第 4 期生より 40 歳未満の会員への参加を無料とすることで若手の会員増に直結する制度と致しました。

③ Visit and Study Japan Grant Program (VSJ)

米国の大学院で日本研究を行っている米国人学生の短期日本研究訪問の助成金プログラムです。

別途選抜された米国の大学院生に助成金を提供し、実際に来日する際の費用を援助します。2020 年度は日本研究を行っている米国 40 大学を選定し募集を実施したものの、新型コロナウイルスに直接的な影響を受け、応募者 1 名を得るに留まりました。当該者を合格としましたが来日研究の目途が立たなかったためプログラム自体を中止しました。2021 年度は、来日滞在費用を外務省所管 KAKEHASHI プロジェクトで助成頂くこと、及び新型コロナウイルスの影響により当該年度中の来日が不可である場合には 2022 年度に延期可能とする条件を整備し、米国 40 大学 260 研究室に公募を致しております。（後援：外務省）

④ アメリカボウル大会

アメリカボウル大会は、日本人高校生を対象に、アメリカの歴史・文化・芸術・地理・科学・日米関係などについての知識を簡単な英語で問うクイズ大会です。米国のワシントン DC 日米協会が永年開催しているジャパン・ボウルの経験を活かしてアメリカ人と日本人合わせて 15 名程度の準備委員会を構成し、準備を進めましたが、2020 年度に実施予定の第 3 回大会は新型コロナウイルスの発生により新学期の開始が著しく遅れた状況等に鑑み中止と致しました。2021 年度は、新型コロナウイルスの影響を極小化するため、オンラインでの予選大会と小規模・少人数での決勝戦の組合せとすることにより、開催準備を進めております。

助成：米日財団、後援：外務省・アメリカ大使館・全英連・ワシントン DC 日米協会・日本国際教育協会、港区教育委員会

本年度も会員の皆様の為の日米協会として活発に活動して参りますので引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。都度ご案内いたしますプログラムへのご参加をお待ち申し上げます。

Annual Report FY2020
For the fiscal year ended April 30, 2021

Dear Members of the Society,

Most of the events in 2020, including the general meetings and monthly programs, have been switched to online since the start of the fiscal year due to Covid-19, especially following the restrictions by the state of emergency. In particular, it was our regret that the reception at U.S. Ambassador's Residence and the other outing events which all of us looked forward to attending were not realized. Notwithstanding the number of the events including the centennial program since 2017 has reached 31 by switching to online as best as possible, which did not reach 40 in 2019. While the influence by Covid-19 would be mitigated by the gradual rollout of vaccination, we believe the health and safety of our members should remain prioritized and thus the online events would be sustained for a time being with a view to resume the real events cautiously depending on the situation. We would like to thank all members and ask for their continued support and cooperation.

The following are the summary of our activities in FY 2020.

Firstly, regarding the regular programs as shown in p10-12, monthly meetings had been held in the office of White & Case LLC with the guest speakers of prominent figures from various fields over the preceding years till 2019. However, in 2020, all of the nine events were forced to be held online. Having said that, the number of attendants sometimes exceeds 160 with the easiness of participation by the time-slot changes. This epitomizes the new style of service to the members. We really appreciate the consistent support of simultaneous interpretation arranged by Dr. Takashi Oi even for the online programs.

In the meantime, the large-scale events, for example, an ordinary general assembly, the garden party at the US ambassador's residence, the co-hosted event with ACCJ, along with other outing events such as a visit to the US military bases and a horse race event were cancelled with an exception of holding the Eisenhower-cup golf competition in November. Nevertheless, we have started a small-scale program called "AJS Salon" focusing on some members with unique expertise, which aims to reinforce the friendship within the members. We have already held it three times so far.

In addition, almost all the programs relating to the centennial event, e.g., Kentaro Kaneko Award, America Bowl and VSJ program, were cancelled with an exception of NGRT, a few sessions of which were held in person with the support by Mori Building co., Ltd. while all the other sessions were held online.

Secondly, regarding the number of AJS members, we had to see off 6 corporate members and accept one down grading for some corporate member owing to the influence of Covid-19. As for the individual members, the number of Regular and Sustaining members remain almost unchanged after all. The number of Associate and Student members has largely increased because of the admission policy change of NGRT, which exempts the admission for AJS members. And we also started to reduce the membership fee for Student members from JPY3,000 to JPY2,000. As the percentage of individual American members still remains at 11%, once again we would like to ask our members to continue to support the admission of individual members, especially American members.

Thirdly, with regard to the officers of the Society, in accordance with Chapter 5, Article 18 of the articles of association, the number of officers should be at least 9 and up to 13 directors for a term of two years. In addition to the above, there is a maximum of 2 auditors for a term of four years. This year, 2 members of the Board of Directors will be termed out and hence need reappointments at the general meeting. If they are approved, the total number of directors is 13, including the said reappointed directors, there are 2 auditors, and no retiring directors and auditors. At the last extraordinary meeting in November, 2020, the former Prime Minister Shinzo Abe was inaugurated as Honorary President. As for the other position of Honorary President which has been vacant since Ambassador William F. Hagerty left his post in 2019, we will ask the newly accredited ambassador to resume the position as soon as he is formally appointed. In addition, we will welcome Ambassador Shinsuke J. Sugiyama, former Ambassador to the US, as our Honorary Vice-President.

In the meanwhile, we have to extend our heartfelt condolences to Mr. Minoru Makihara, the member of Advisors, and Ms. Shizuko Tani, the member of Councils, both of whom made a great contribution to our society for long years but sadly passed away in December, 2020. Other Honorary Vice Presidents, members of Advisors and Councils will continue to serve as the same as before.

The fourth theme is about finance and accounting, the details of revenue and expenditure are reported in two categories: regular general operations and centennial commemorative operations.

1) General operations: As described on P-14, the last year's deficit (-280,000 yen) was replaced by a surplus (524,000 yen). In terms of revenue, although we've seen six corporate members leave the society with almost no event revenues at hand, we have barely reached that surplus which is solely owing to the extraordinary Covid-19 related grant by the government, which is utterly temporary. As we cannot expect the grant by the government anymore and hence will inevitably face the risk of deficit, we will strongly seek for acquiring the new members, reducing the cost and avoiding any cost overrun for the real events with

the quality of service appropriately sustained.

2) Status of 100th Anniversary Projects: As described on P-15, we deliberately and effectively consumed the "100th Anniversary Fund" given by our members, resulting in a balance of ¥82,962,754 at the end of the fiscal year with ¥1,639,570 being used up.

Last but not least, I am pleased to touch upon the situations of four centennial programs as follows. Our members' contribution to the centennial fund helped to promote mutual understanding and friendship between the U.S. and Japan, as well as the international exchange of the young generation. We have used the fund for the following four programs:

1. The Kaneko Award (4th year)

The award is given to Americans and Japanese who have made grassroots contributions to U.S.-Japan relations. The selection committee is chaired by Mr. Kunihiko Saito, former Ambassador to the United States and Honorary Vice President of the Society, joined with Mr. Yuzaburo Mogi, Kikkoman Corporation / Honorary CEO and Chairman of the Board of Directors, Mr. Christopher J. LaFleur, our Vice President and Chairman of the American Chamber of Commerce in Japan, Ms. Hiroko Kuniya, a journalist, and Professor Fumiaki Kubo of National Defense Academy and myself. Although we have decided to suspend the selection in order to expand the pool of candidates, we will continue the suspension until 2022 considering the present Covid-19 situation having an impact on the selection process.

2. Next Generation's Roundtable in Tokyo (NGRT)

As the centerpiece of the projects for the young generation, the Next Generation's Roundtable in Tokyo (NGRT) is a series of opportunities to discuss with Americans in English. Through the NGRT meetings, young Americans and Japanese members enjoy networking. We started the fourth intake last October and have held six sessions till the end of April with two sessions in person and the others held online. The program has become popular among the participants having the up-and-coming speakers invited. From the fourth intake, we have exempted the admission fee for the AJS member, which directly increase the number of Associate and Student members.

3. Visit and Study Japan Grant Program (VSJ)

This is a grant program for U.S. students studying Japanese studies at the U.S. graduate schools to visit Japan for a short period of time. Although we have invited the applications from 260 rooms in 40 U.S. universities conducting the research on Japan, only an American student applied, who eventually gave up coming to Japan because of the passage forbidden. For the upcoming 2021, we have already notified the application to the same universities in the US, jointly supported by KAKEHASHI Project of MOFA

with special conditions on Covid-19 which can extend the visit to Japan till next year.

4. America Bowl Tournament (3rd year)

The America Bowl is an opportunity for Japanese high school students to learn about American history, culture, art, geography, science, and the relationship with Japan. This is a quiz competition that asks questions in simple English. The Japan-America Society of Washington, D.C., has been hosting the Japan Bowl for many years. Although we had started the preparation, we decided to suspend the program as the start of the term was delayed because of Covid-19. For 2021, we have already started the preparation planning to hold an online preparatory session, followed by the small-scale semi-final/final sessions in the autumn.

Subsidized by the U.S.-Japan Foundation; In collaboration with the Ministry of Foreign Affairs, the U.S. Embassy, Zen-Ei-Ren, the Japan-America Society of Washington, D.C., the Japan Society for International Education and the Education Committee of Minato City in Tokyo.

We will endeavor to meet the request of our members enough to strengthen the AJS. We look forward to your continued understanding and support.

President Ichiro Fujisaki

一般社団法人 日米協会 役員・役職者

July 13, 2021 現在
(アルファベット順)

名誉会長	安倍 晋三 駐日米国大使	
会 長	藤崎 一郎	
名誉副会長	加藤 良三 斎藤 邦彦 柳井 俊二	佐々江 賢一郎 杉山 晋輔
顧 問	宮内 義彦 大橋 洋治 千 玄室 渡邊 五郎	茂木 友三郎 大河原 愛子 高島 肇久
副会長	久野 明子	クリストファー・J・ ラフルアー
理 事 (*FY2021-2023)	藤崎 一郎 * 久保 文明 クリストファー・J・ラフルアー 大井 孝 ブライアン・G・ストラーン 氏家 純一 トーマス・W・ウィッソン	アーネスト・M・ヒガ 久野 明子 森 浩生 * 岡本 和夫 鶴田 知佳子 渡辺 隆
専務理事	岡本 和夫	
監 事	デヴィッド・E・ケース 公望 聡史	
評議員	青木 聡 堀江 昭 小林 重行 近藤 誠一 パッカード 啓子 迫川 由和 手納 美枝 山下 宏 安 欣治 吉田 隆志	文野 千年男 川端 章夫 小松 としゑ 馬越 恵美子 斎藤 裕紀恵 滝 健 和田 文彦 柳澤 亨 安田 信

The Officers of the America-Japan Society, Inc.

As of July 13, 2021
(Alphabetical order)

Honorary President	Shinzo Abe U.S. Ambassador to Japan	
President	Ichiro Fujisaki	
Honorary Vice-Presidents	Ryozo Kato Kunihiko Saito Shunji Yanai	Kenichiro Sasae Shinsuke J. Sugiyama
Advisors	Yoshihiko Miyauchi Youji Ohashi Genshitsu Sen Goro Watanabe	Yuzaburo Mogi Merle Aiko Okawara Hatsuhisa Takashima
Vice-Presidents	Akiko Kuno	Christopher J. LaFeur
Directors (* FY2021-2023)	Ichiro Fujisaki * Fumiaki Kubo Christopher J. LaFeur Takashi Oi Brian G. Strawn Junichi Ujiie Thomas W. Whitson	Ernest M. Higa Akiko Kuno Mori Hiroo * Kazuo Okamoto Chikako Tsuruta Takashi Watanabe
Executive Director	Kazuo Okamoto	
Statutory Auditors	David E. Case Satoshi Kubo	
Council Members	Satoshi Aoki Akira Horie Shigeyuki Kobayashi Seiichi Kondo Keiko Packard Yoshikazu Sakogawa Mie Teno Hiroshi Yamashita Kinji Yasu Takashi Yoshida	Chitoo Bunno Akio Kawabata Toshie Komatsu Emiko Magoshi Yukie Saito Ken Taki Fumihiko Wada Susumu Yanagisawa Makoto Yasuda

FY 2020 CALENDAR OF EVENTS

(May 1, 2020 ~April 30, 2021)

(*) : Centennial Programs

(S) : Student Members/Interns Programs

- 1) May 12, 2020: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R3-7): "English Signs in Japan -Are they helping communication?"
Speaker: Prof. Chikako Tsuruta, Conference interpreter and broadcast interpreter with CNN and NHK, Professor Emeritus of Tokyo University of Foreign Studies
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 13 attendances (11 Japanese & 2 Americans)
- 2) May 29: AJS May Lecture: "China, the U.S., and Japan Relations"
Lecturer: Dr. Fumiaki Kubo : Professor of American Government and History at the Graduate School for Law and Politics of the University of Tokyo, and Director of the America Japan Society
Online Lecture, 19:00-20:30, (In Japanese), 60 attendances
- 3) June 15: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R3-8): "Adapting U.S. products and businesses for the Japanese Market"
Speaker: Mr. Ernest M. Higa, Chairman and Chief Executive Officer of Higa Industries Co., Ltd. and Wendy's Japan
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 13 attendances (11 Japanese & 2 Americans)
- 4) June 29: AJS June Lecture: "Update on US-China and Japan Relations "
Lecturer: Dr. Shin Kawashima, Professor of international relations at the University of Tokyo
Online Lecture, 19:30-21:00, (In Japanese), 85 attendances
- 5) July 15: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R3-9): "COVID-19 response -what has made a difference? "
Speaker: Dr. Kenji Shibuya, Professor and Director, University Institute for Population Health King's College London, the United Kingdom
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 13 attendances (11 Japanese & 2 Americans)
- 6) July 29: AJS July Lecture: "Issues America Faces in 2020"
Lecturer: Dr. Joshua W. Walker, President and CEO of Japan Society
Online Lecture, 20:30-22:00, (In English), 80 attendances
- 7) Aug 21: (S) AJS Intern Program: "Online Session with Mr. Michael Turner, Culture and Sports Attaché, U.S. Embassy Tokyo"
Speaker: Mr. Michael Turner, Culture and Sports Attaché, U.S. Embassy Tokyo
Online meeting, 13:00-14:30, (In English), 14 attendances
- 8) Aug 26: (S) Student Members Program: "Gender Issues with regards to International Labor Standards"
Speaker: Ms. Emi Omura, Attorney at the Kamiyacho International Law Office
Online meeting, 14:00-15:30, (In Japanese), 14 attendances
- 9) Aug 30: (S) Student Members Program: "Netflix Party & Discussion x Tokyo"
Online Session, 9:00-12:30, (In English), 17 attendances

- 10) Sep 9: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R3-10): "Russia and Japan? "
 Speaker: Mr. Takayuki Iriya, Director, Russia Division, European Affairs Bureau, MOFA
 Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 17 attendances (15 Japanese & 2 Americans)
- 11) Sep 17: The 85th AJS Ordinary General Meeting
 Online Meeting, 17:00-18:00, (In Japanese), 30 attendances
- 12) Sep 23: (S) AJS Online Session for Students:"The future of SDGs and career in international organizations"
 Speaker: Mr.Tetsuo Kondo, Director of the United Nations Development Programme (UNDP) Representation Office in Tokyo
 Online Meeting, 15:00-16:30, (In Japanese), 15 attendances
- 13) Oct 19: AJS October Lecture: "US Presidential Election and Diplomacy between the US and Japan"
 Lecturer: Mr. Keiichi Ichikawa, Director-General/Assistant Minister of North American Affairs Bureau, Ministry of Foreign Affairs
 Online Lecture, 19:30-20:30, (In Japanese), 97 attendances
- 14) Oct 27: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-1): "Humanity in the Workplace: Being your authentic self."
 Speaker: Mr. Brian Strawn, Registered Foreign Attorney in Japan, White & Case LLP
 Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 44 attendances (37 Japanese & 7 Americans)
- 15) Nov 7: The AJS award granting for IIBC essay contest
 Hotel New Otani
- 16) Nov 9: The AJS Extraordinary General Meeting
 Online Meeting, 19:30-20:00, (In Japanese), 36 attendances
- 17) Nov 12: AJS November Lecture: "US, Japan and China after the US presidential election"
 Lecturer: Mr. Hiroyuki Akita, Commentator of Editorial Bureau, Nikkei Inc.
 Online Lecture, 20:00-21:20, (In Japanese), 80 attendances
- 18) Nov 13: AJS Golf Competition President Eisenhower Cup
 Yomiuri Golf Club, 16 attendances
- 19) Nov 25: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-2): "Humanity in the Workplace: Being your authentic self."
 Speaker: Ms. AYA IGARASHI, Editorial Writer of the Yomiuri Shimbun International relations/China/US/Asia
 Roppongi Hills Club, 19:30-21:00, (In English), 28 attendances (22 Japanese & 6 Americans)
- 20) Jan 13: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-3): "Japan PM Suga to Expand National Health Insurance Coverage for Infertility Treatment"
 Speaker: Dr. Miori Tomisaka, Doctor of Obstetrics & Gynecology
 Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 32 attendances (27 Japanese & 5 Americans)
- 21) Jan 27: AJS Salon: "Women's Leadership & Global Careers"
 Speaker: Ms. Risa Kamio, Setagaya City Council
 Online meeting, 19:30-20:30, (In Japanese), 26 attendances

- 22) Jan 28: AJS January Lecture: "U.S. Foreign Policy Under Biden Administration"
Lecturer: CDA Joseph M. Young, Chargé d'Affaires ad interim at the U.S. Embassy Tokyo
Online Lecture, 15:00-16:00, (In English), 137 attendances
- 23) Feb 10: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-4): "Evolution in education? COVID-19 and online learning"
Speaker: Mr. Matthew Wilson, Dean of Temple University in Japan
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 22 attendances (14 Japanese & 8 Americans)
- 24) Feb 24: A joint special keynote event with White & Case LLP: "Biden Asia-Pacific Policy and The Implications For Japan"
Speaker: Dr. Haruo Shimada, Chairperson of Tokyo Metropolitan University Public University Corporation, Amb. Paul W. Speltz, Chairman and CEO of Global Strategic Associates, LLC, Amb. Ichiro Fujisaki, President of the America-Japan Society
Online meeting, 8:30-9:45, (In English), 164 attendances
- 25) Feb 25: AJS February Lecture: "Abe's Achievement and Tasks for Suga"
Lecturer: Mr. Toshio Shimada, NHK Executive Resercher
Online Lecture, 19:30-21:00, (In Japanese), 70 attendances
- 26) Mar 1: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-5): "The Mission of a Diplomat: Reflections on Japan, Diplomacy and Language"
Speaker: Mr. Jason P. Hyland, President and Representative Officer of MGM Resorts Japan LLC and a former American diplomat who served as the acting United States Ambassador to Japan
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 17 attendances (12 Japanese & 5 Americans)
- 27) Mar 25: AJS Salon: "Reshaping Global HRD in Light of the Covid-19 Pandemic"
Speaker: Ms. Yukie Saito, Associate Professor of Chuo University Faculty of Global Informatics
Online meeting, 19:30-21:00, (In Japanese), 35 attendances
- 28) Apr 6: AJS April Lecture: "After Working in the U.S. -The Future of U.S. and Japan Relations"
Lecturer: H.E. Shinsuke J. Sugiyama, Former Ambassador of Japan to the U.S.
Online Lecture, 19:30-21:00, (In Japanese), 135 attendances
- 29) Apr 26: AJS May Lecture: "PM Suga's Visit to U.S. in April for Summit with Biden"
Lecturer: Mr. Keiichi Ichikawa, Director-General / Assistant Minister of North American Affairs Bureau of MOFA
Online Lecture, 19:30-21:00, (In Japanese), 144 attendances
- 30) Apr 28: (*) Next Generation's Round Table in TOKYO (R4-6): "Global Displacement – Why do we need to act together now?"
Speaker: Ms. Karen Madeleine Farkas, UNHCR's 13th Representative in Japan
Online meeting, 19:30-21:00, (In English), 40 attendances (32 Japanese & 8 Americans)
- 31) Apr 28: (S) A Joint Special Event with the American School in Japan(ASIJ): "U.S.-Japan Business Challenge"
Co-Sponsor: ITOCHU Corporation
ASIJ, 9:40-11:30, (In Japanese) , 40 attendances

FY2020 AJS Membership

As of April 30, 2021

COMPANY MEMBERS

	Company Members	Company Representatives	American	Japanese
FY2016	92 (116 units)	279	12 (4%)	267 (96%)
FY2017	93 (116 units)	283	12 (4%)	271 (96%)
FY2018	95 (118 units)	284	12 (4%)	272 (96%)
FY2019	94 (116 units)	276	12 (4%)	264 (95%)
FY2020	88 (109 units)	238	12 (5%)	226 (95%)
Balance	△ 6 (7 units)	△ 38	0	△ 38

Resigned Member: 3

Paul Hastings Foreign Law Joint Enterprise, State Street Trust and Banking Co., Ltd.
MGM RESORTS JAPAN LCC

Leave of Absence: 3

Shojikiya Food Service Co., Ltd., New Otani Co., Ltd., CIEE Japan

INDIVIDUAL MEMBERS & ASSOCIATES

	Special Sustaining	Sustaining	Regular	Associate	Student Member	Overseas	Total	American	Japanese
FY2016	0	119	371	87	66	5	648	68 (10%)	580 (90%)
FY2017	0	111	362	81	78	6	638	68 (11%)	570 (89%)
FY2018	0	107	357	83	75	7	629	69 (11%)	560 (88%)
FY2019	0	99	345	80	84	9	617	68 (11%)	549 (89%)
FY2020	0	99	346	102	107	12	666	73(11%)	593(89%)
Balance	0	0	1	22	23	3	49	5	44

New Member: 84

Resigned Member: 36

leave of absence: 4

TOTAL MEMBERS

	Total Representatives, Individual Members And Associates	American	Japanese
FY2016	927	80 (9%)	847 (91%)
FY2017	921	80 (9%)	841 (91%)
FY2018	913	81 (9%)	832 (91%)
FY2019	893	80 (9%)	813 (91%)
FY2020	904	85 (9%)	819 (91%)
Balance	11	5	6

個人会員比較

	FY2020	FY2017	FY2020/FY2017
Male	430	429	100%
Female	236	209	113%
Age ~39	180	122	148%
Age 40~	480	516	93%
Total	666	648	103%

Statement of Income & Expenditure FY2020

(from May 1, 2020 to April 30, 2021)

ORDINARY ACTIVITIES

(1,000 yen)

	<u>ACTUAL</u> <u>FY2020</u>		<u>BUDGET</u> <u>FY2020</u>	<u>ACTUAL</u> <u>FY2019</u>
<u>INCOME (Ordinary Activities)</u>				
Membership Dues	29,787	96.5%	30,860	30,919
Company Members	19,530		20,430	20,610
Individual Members	10,257		10,430	10,309
Activities(Regular Program)	80		2,390	2,540
Donations(US Embassy & others)	0		0	4,494
Interest & Other Income	2,378		500	73
Ordinary Income Total	<u>32,245</u>		<u>33,750</u>	<u>38,025</u>
<u>Expenditure (Ordinary)</u>				
Regular Programs	102		2,400	3,192
US Embassy Grant (American studies)	0		0	4,048
Others (Directory, Student Conference)	840		950	100
<u>Administrative Expenses (Ordinary)</u>				
Salaries & Social Benefits	16,578	98.0%	15,369	15,556
Transportation	830		1,400	1,380
Office Expenses	1,714		2,000	2,096
Business Meetings	304		900	952
Communication	1,115		1,000	1,014
Office Rental Charge	5,896		5,900	5,860
Office Equipment & Leasing	882		730	729
Stationary and Printing	867		1,200	1,206
Miscellaneous	8		66	66
Commission	309		300	264
Anti-Covid-19 countermeasures	280		500	
Retirement fund	1,179		1,000	1,000
Depreciation	817		843	843
Ordinary Expenditure Total	<u>31,721</u>		<u>34,558</u>	<u>38,306</u>

Excess of Revenue Over Expenses

Ordinary Activities	524	△ 808	△ 281
----------------------------	------------	--------------	--------------

Statement of Income & Expenditure for Centennial Project Activities FY2020

(from May 1, 2020 to April 30, 2021)

CENTENNIAL PROJECT

	<u>ACTUAL</u> FY2020	<u>BUDGET</u> FY2020
	(1,000 yen)	
<u>INCOME</u>		
Centennial Donation (carried over since FY2018)	84,426	84,426
Other Income (FY2020)		
- NGRT participation fee	168	360
- Support for VSJ	0	0
- Participants fee	0	0
- Merchandise	8	
<u>Total Income</u>	<u>84,602</u>	<u>84,786</u>
<u>Expenditure</u>		
1) The Kaneko Award	<u>143</u>	<u>0</u>
Ceremony	0	0
Prizes	0	0
Communication	143	0
2) NGRT(Next Generation Round Table)	<u>435</u>	<u>282</u>
Venue (3 times)	82	198
Communications & Transportation	50	24
Printing & Office Expense	293	
Business Meetings	10	
Remunerations	10	60
3) VSJ(Visit and Study Japan)	<u>41</u>	<u>400</u>
Grant @200,000 × 5 students	0	0
Remunerations	41	400
4)America Bowl	<u>144</u>	<u>300</u>
Communications & Transportation	114	100
Remunerations	20	200
Others	10	0
5)Other reserve	<u>197</u>	<u>1,000</u>
Sub Total 1)~5)	<u>960</u>	<u>1,982</u>
5)Payment for accrued expense & others	<u>680</u>	
6)Untransferred cost on Ordinary Activities		
<u>Total Expenditure</u>	<u>1,640</u>	<u>1,982</u>
Excess of Revenue over Expenses carried over for FY2021	82,962	82,804

BALANCE SHEET

As of April 30, 2021

(¥)

<u>ASSETS</u>			
Current Assets total			<u>33,281,643</u>
Cash and Deposits		23,308,096	
Accounts Receivable			
Reserves		9,973,547	
Fixed bank deposit	6,000,000		
Securities	3,973,547		
Other Reserves			
Fixed Assets Total			<u>90,711,679</u>
Permanent funds		681,182	
Centennial fund reserves		82,962,754	
Retirement fund reserve		1,456,209	
Other fixed assets		5,611,534	
Office Furniture	1,053,176		
PC software & HP	538,202		
Deposit for rent	4,020,156		
Total Assets			<u>123,993,322</u>
<u>LIABILITIES</u>			
Current Liabilities			<u>955,812</u>
Accured Liability		748,479	
Deposit Payables		207,333	
Non-current Liabilities			<u>1,456,209</u>
Retirement Allowances		1,456,209	
Total Liabilities			<u>2,412,021</u>
<u>NET WORTH</u>			
Net worth			<u>121,581,301</u>
Net worth at beginning of year		120,662,799	
Net worth change during year		918,502	
Total Net worth			<u>123,993,322</u>
Liabilities & Net worth Total			<u>123,993,322</u>

Net worth ordinary operation	41,030,568 (¥)
Net worth Centennial operation	82,962,754
(*) Net worth Total	123,993,322

FY2020 日米協会監査報告

Audit Report of the America-Japan Society, Inc.

for the FY 2020

2020 年度の一般社団法人日米協会の業務報告及び会計監査（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）を監査の結果、これらは適正に行われていることを認めます。

It is certified that the activities and the financial statements of the America-Japan Society, Inc. during the FY 2020 are properly executed.

Statutory Auditor,



Satoshi Kubo

Statutory Auditor,



David E Case

June 18, 2021
The America-Japan Society, Inc.

AJS Activity Plan for FY2021

Direction for strengthening the Society's Events

A: Regular Programs

- 1) Talk events: lectures and panels.
Inviting prominent guests for lectures, talks and dialogs with President Fujisaki on the timely subjects nearly every month. While most of the events in 2020 were held online, we would like to switch them to "real" ones if the circumstances permit.
- 2) Other regular programs.
 - "Welcoming the newly assigned Honorary President and the US Ambassador" Party to be held as soon as the circumstances permit.
 - Joint programs with other organizations such as ACCJ and NAJAS, the circumstances permitting.
- 3) Small scale events and conferences up to 40 attendants at AJS
 - "AJS Salon" events to get acquainted with each other introducing the expertise of our members.
 - `Happy Hour` events to be organized occasionally organized by interns and `Brown-bag` lunch meetings, the circumstances permit.
 - Liaison conferences among US-Japan stakeholders to enhance mutual collaboration.
 - Intern meetings
- 4) Outing programs such as visiting U.S. military bases, music and social gatherings, the circumstances permitting.
- 5) The reduced number of the AJS golf tournament once in a year with the range of participants exclusively limited to the AJS members.

Income & Cost Estimation for FY2021 Ordinary Activities Estimation for the Regular programs

1	Regular talk events	0	
2	Other regular events	2,500,000	Welcome Reception
3	Small scale events & conferences	0	
4	Outing programs	0	
5	Golf events	80,000	@80,000 x 1times
	Total	¥2,580,000	

B: Centennial Projects

We will continue to make efforts for four (4) Centennial Projects commemorating the Society's Centennial.

Please see P.20.

Ordinary Activities
BUDGET of INCOME & EXPENDITURE FY2021
(from May 1, 2021 to April 30, 2022)

(1,000 yen)

		<u>BUDGET</u> <u>FY 2021</u>		<u>ACTUAL</u> <u>FY 2020</u>
<u>INCOME (Ordinary)</u>				
Membership Dues		29,918		29,787
Company Members	19,170		19,530	
Individual Members	10,748		10,257	
Regular Programs		2,580		80
Donations		0		0
Interest & Others		44		2,378
<u>Ordinary Income Total</u>		<u>32,542</u>		<u>32,245</u>
<u>EXPENDITURE (Ordinary)</u>				
Activities (Ordinary)		2,580		942
Regular Programs	2,480		102	
US Embassy Grant (American Study)	0		0	
Others(Directory, Student Conference)	100		840	
Administrative Expense		28,648		28,783
Salaries & Social benefit	16,000		16,578	
Transportation	1,000		830	
Office Expense	1,700		1,714	
Business Meetings	600		304	
Communication	1,100		1,115	
Office Rental Change	5,900		5,896	
Office Equipment & Leasing	880		882	
Stationary & Printing	900		867	
Miscellaneous	68		8	
Commission	300		309	
Anti-Covid-19 countermeasures	200		280	
Retirement Fund		1,000		1,179
Depreciation	-	800	-	817
<u>Ordinary Expense Total</u>		<u>33,028</u>		<u>31,721</u>
<u>Ordinary Excess of Revenue Over Expense</u>		<u>△486</u>		<u>524</u>

Centennial Project
BUDGET of INCOME & EXPENDITURE FY2021
 (from May 1, 2021 to April 30, 2022)

(1,000 yen)

INCOME (Centennial Project)

From Centennial Fund		82,962
NGRT participation fee		168
Support for VSJ		0
Donations		600
<u>Total Income</u>		<u>83,730</u>

EXPENDITURE (Centennial Project)

1) AJS Kaneko Award		100
Ceremony	0	
Prizes @300x2	0	
Communication	100	
2) NGRT		558
Venue (Hills Club): @33x6	198	
Communication & Transpotation	40	
Printing & Office Expense	300	
Business Meetings	10	
Remuneration	10	
3) Visit & Study Japan Grant (VSJ)		640
Grant @300x2 students	600	
Remuneration	40	
4) America Bowl		3,000
Printing & Postage	600	
Remuneration	200	
Facilities	500	
Prizes	300	
Equipment/Vendors	1,000	
Others (Banner, communication)	400	
5) Other reserve		1,000
<u>Total Expenditure</u>		<u>5,298</u>
<u>Excess of Income over Expences</u> <u>(carried over for FY2021)</u>		<u>78,432</u>

AJS New Individual Members From May 1, 2020～April 30, 2021

No	Last	First	姓	名
1	Sakuraba	Daisuke	桜庭	大輔
2	Nakamura	Shinichi	中村	慎一
3	Shimbori	Satoko	新堀	仁子
4	Takai	Hideki	高井	英樹
5	Sanders	Justin		
6	Miyazaki	Makiko	宮崎	真響子
7	Nomura	Masaki	野村	将揮
8	Tabata	Noah	田畑	乃亜
9	Nakamura	Mai	中村	真唯
10	Nakamura	Rino	中村	理乃
11	Sato	Chika	佐藤	千夏
12	Takahashi	Kaori	高橋	花織
13	Ujiiie	Junichi	氏家	純一
14	Sehara	Yoshihisa	瀬原	吉久
15	Kaku	Takuto	郭	拓人
16	Ogura	Natsuko	小倉	夏子
17	Haru	Yuno	春	優乃
18	Maejima	Toshiki	前嶋	俊輝
19	Ozaki	Aika	小崎	愛華
20	Sueo	Kota	末尾	光多
21	Fredander	Elin	フレダンデール	エリン
22	Fujii	Haruna	藤井	春菜
23	Kobayashi	Maoko	小林	真緒子
24	Satomi	Yosuke	里見	陽介
25	Takano	Shun	高野	俊
26	Terasaki	Chinami	寺崎	千波
27	Sasae	Kenichiro	佐々江	賢一郎
28	Matsumoto	Morio	松本	盛雄
29	Duncan	Sawyer		
30	Matsuki	Shoichiro	松木	正一郎
31	Norris	Paige	ノリス	ペイジ
32	Shimokawa	Sawa	下川	さわ
33	Tanaka	Susumu	田中	晋
34	Aoyagi	Sarah	青柳	沙来
35	Kawasaki	Hikaru	川崎	ひかる
36	Seki	Masafumi	関	匡史
37	Tanaka	Megumi	田中	めぐみ
38	Kimura	Erina	木村	英里菜
39	Lee	Kenneth	リー	ケネス
40	Shimodaira	Eri	下平	江莉
41	Horiguchi	Hidetoshi	堀口	英利
42	Matsuda	Yutaro	松田	勇太郎
43	Sawaura	Ekubo	澤浦	えくぼ
44	Mukade	Kenichi	百足	健一
45	Yamagami	Kanako	山上	佳那子

No	Last	First	姓	名
46	Shirai	Yuki	白井	優毅
47	Moriya	Hasumi	守屋	羽純
48	Tokugawa	Iehiro	徳川	家広
49	Akima	Osamu	秋間	修
50	Koga	Takuma	古賀	卓磨
51	Hidaka	Rina	日高	莉那
52	Kai	Masashi	甲斐	雅之
53	Chen	Debbie	チェン	デビー
54	Matsuoka	Yudai	松岡	裕大
55	Hamaguchi	Yuriko	濱口	祐理子
56	Kishimoto	Mayumi	岸本	真由美
57	Yamamoto	Takashi	山本	卓史
58	Nukina	Yukiko	貫名	優貴子
59	Tanasaki	Muen	棚崎	夢媛
60	Kimura	Ryosuke	木村	瞭介
61	Nakanishi	Hana	中西	葉奈
62	Tokumasu	Kiyoka	徳升	清香
63	Kosugi	Yu	小杉	優
64	Usui	Akira	臼井	明
65	Jennings	Alma	ジェニングス	アルマ
66	Kikuchi	Mayu	菊池	麻友
67	Osawa	Ruriko	大澤	るり子
68	Shannon	Matthew	シャノン	マッシュュー
69	Komizo	Mai	小溝	舞
70	Aikawa	Mari	愛川	真理
71	Uenohara	Akiko	植之原	明子
72	Masago	Taro	真砂	太郎
73	Langley	Kelly	ラングレー	ケリー
74	Murakami	Tetsuya	村上	哲也
75	Ohno	Akira	大野	晃
76	Harlan	Patrick	ハーラン	パトリック
77	Tahara	Taishi	田原	大嗣
78	Nakashita	Rino	中下	璃乃
79	White	Andrew	ワイト	アンドリュー
80	Tomisaka	Miori	富坂	美織
81	Murakami	Nozomi	村上	遥海
82	Yasuda	Yuki	保田	雄基
83	Arai	Kumiko	荒井	久美子
84	Iijima	Takahiro	飯島	隆博

一般社団法人 日米協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-28 M-City 赤坂一丁目ビル 8F

TEL : 03 (3588) 6344 FAX : 03 (3588) 6355